

# 新図書館整備に関する座談会

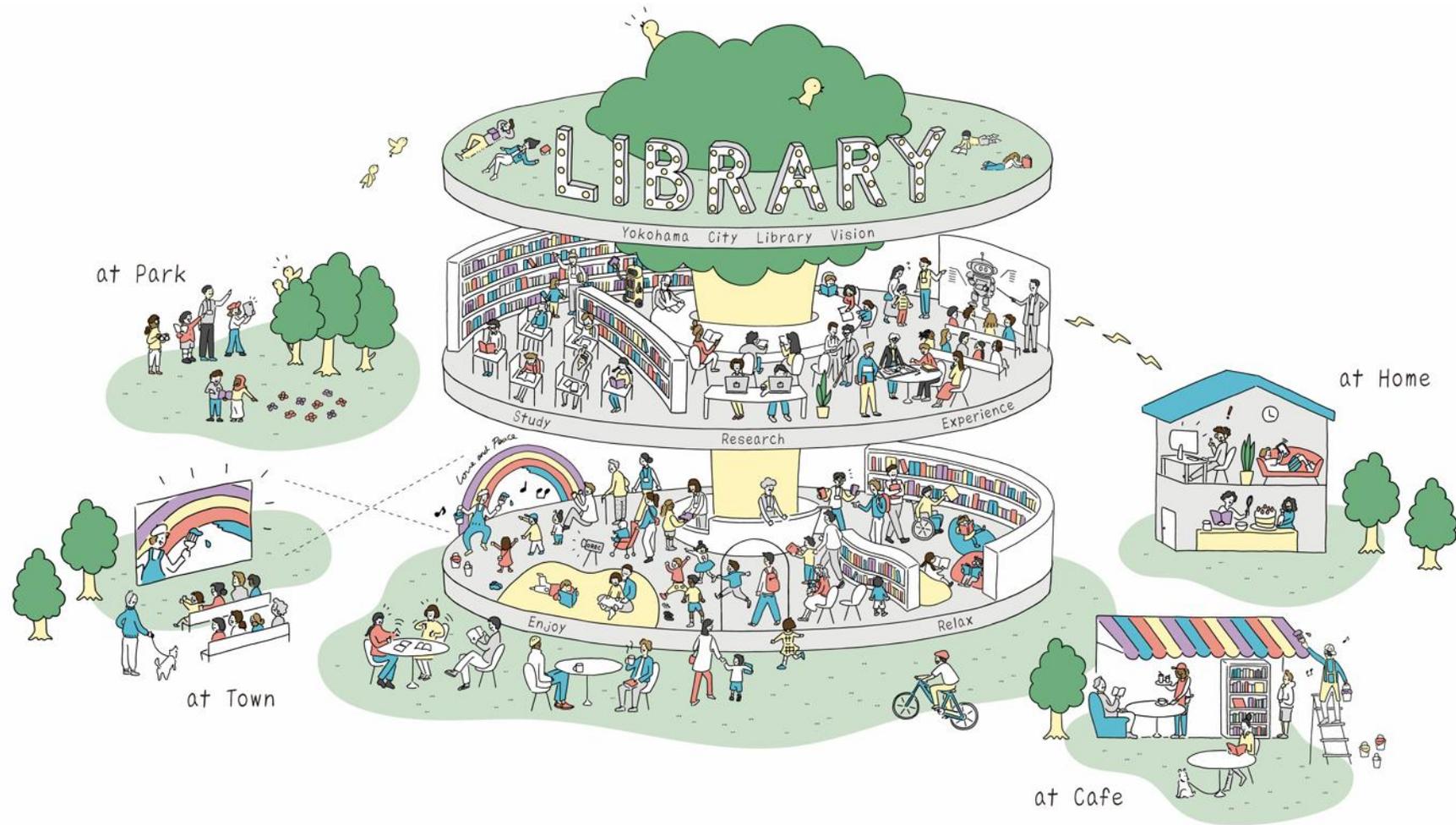
<前半> 事務局からの説明 ～意見交換・座談の前提として～

- (1) 横浜市の図書館施策について (約10分)
- (2) 新図書館整備基本構想(素案)について (約15分)

<後半> 参加者の皆様による意見交換・座談 ～本日のメイン～

- 説明を踏まえた、皆様による意見交換・座談 (約45分)
- 新図書館整備に関する質問等 (約5分)
- 他グループの意見交換・座談の結果を発表 (約5分)

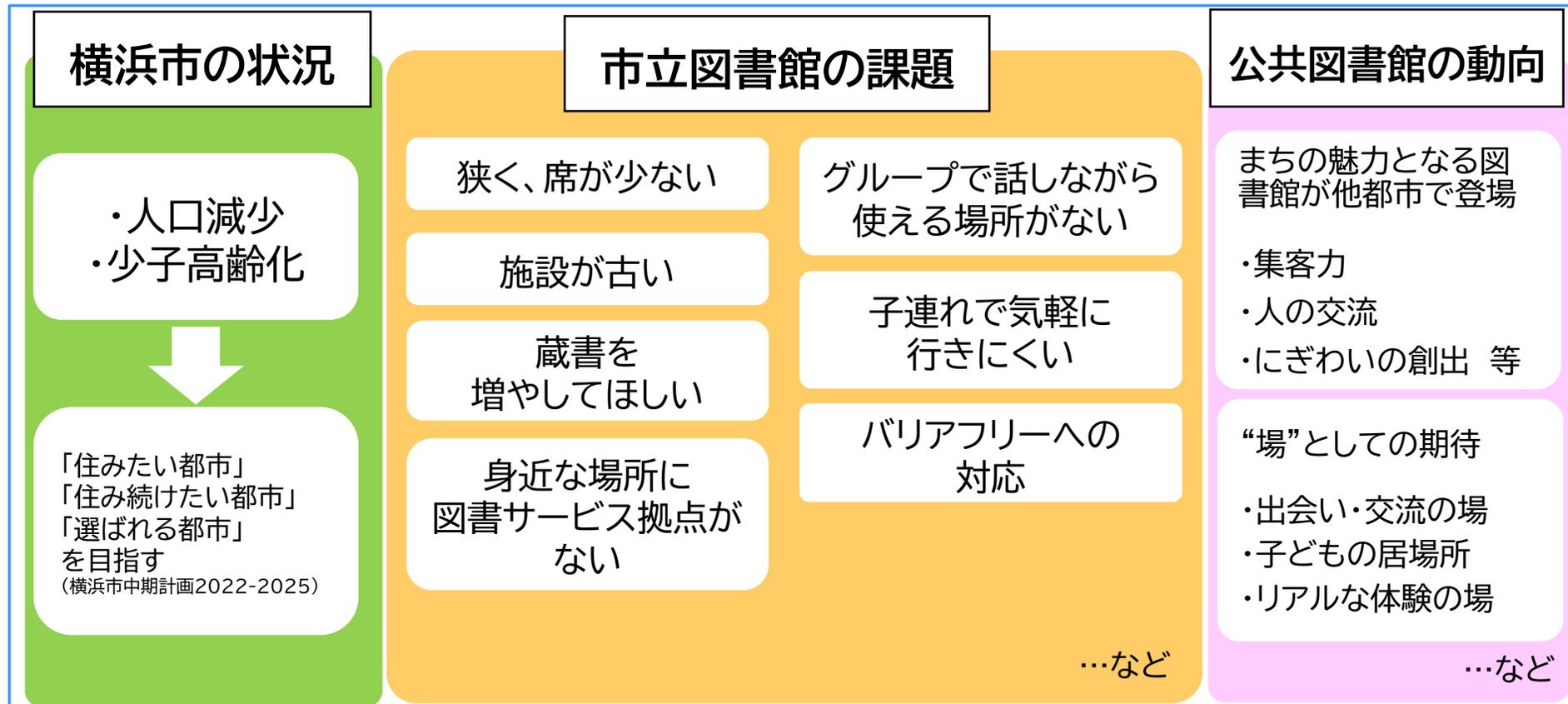
# (1) 横浜市の図書館施策について



# 1 現在の横浜市立図書館のサービス



# 2 市立図書館を取り巻く状況



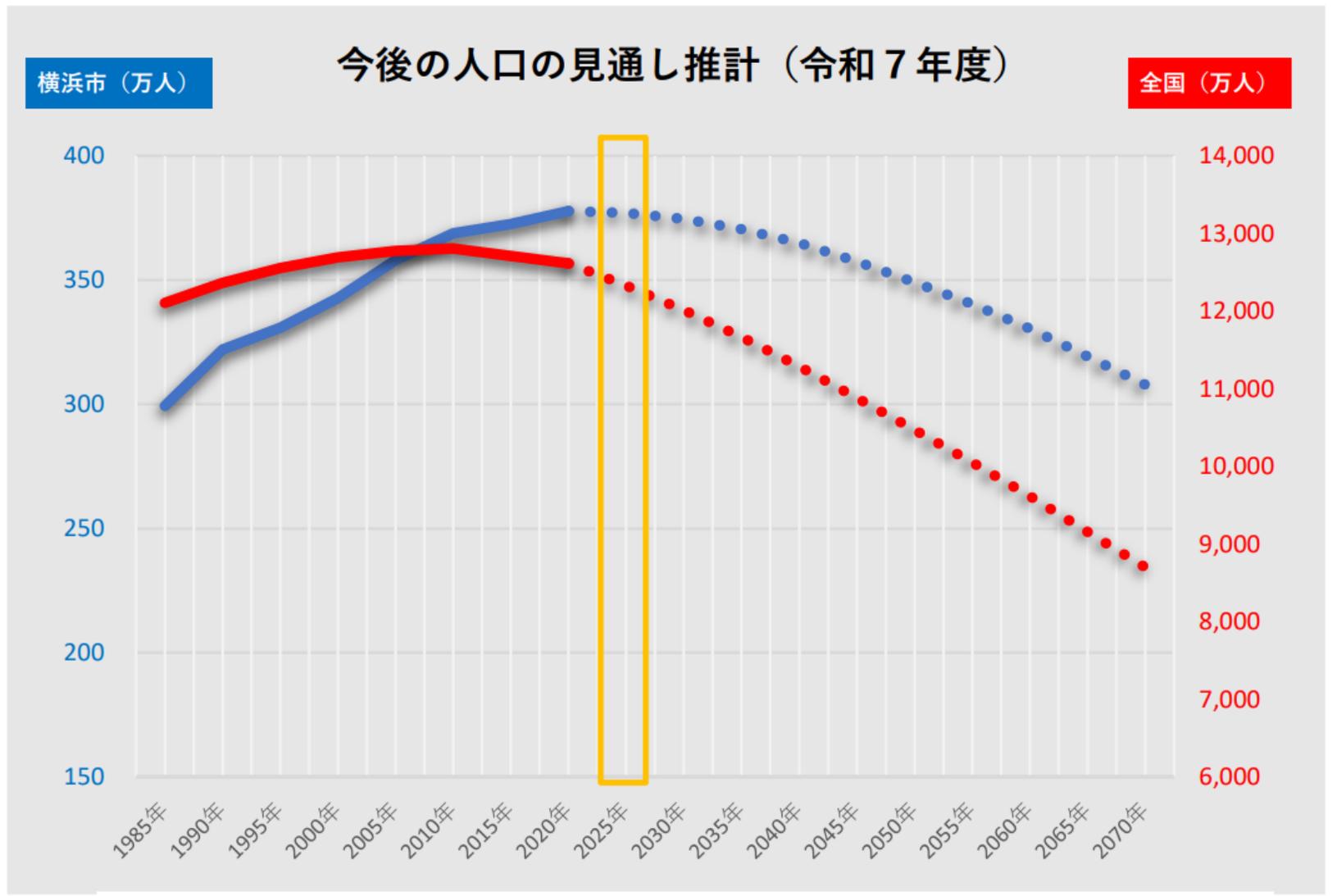
# 2 市立図書館を取り巻く状況 ～横浜市の場合①～

## 将来的な人口減少・少子高齢化

横浜市中期計画2026-2029（素案）より抜粋

- 今後、全国と比べて緩やかであるものの、人口減少局面を迎える
- 現在は約377万人であるが、2070（令和52）年には、約308万人まで減少見込み（約18%減少）

⇒ 今後、市税収入が減少する見込み



1985～2020年は、国勢調査  
2025年以降は、横浜市は「今後の人口等の見通し推計（令和7年度）」、  
全国は「日本の将来推計人口（令和5年度）」

# 2 市立図書館を取り巻く状況 ～横浜市の場合②～

## 横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン (R4.6議決)

### 1 背景

- 【歳入面】市税収入の減少等
- 【歳出面】社会保障経費の増大等

### 2 目的

「施策の推進と財政の健全性の維持」の両立

### 3 概要

目指すべき「持続的な財政」の姿

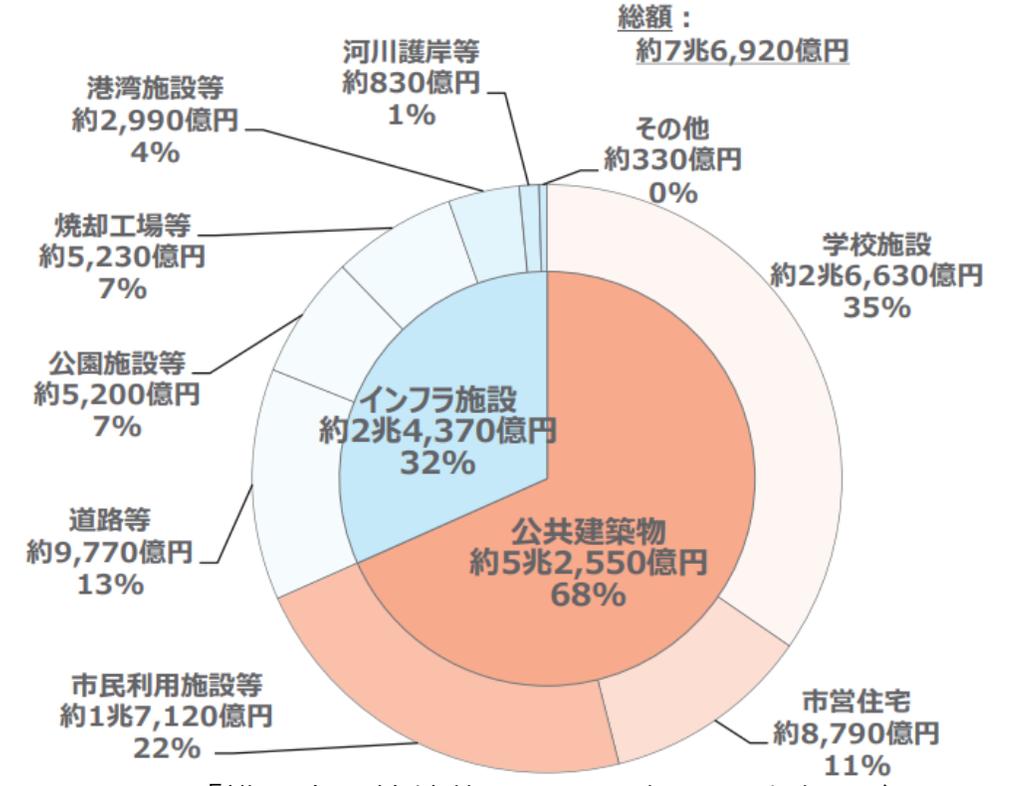
財政運営の基本方針

- 債務管理
- 財源確保
- 資産経営** . . . . .

- ①資産の戦略的活用による価値の最大化
- ②公共施設の適正化  
施設規模の効率化、保全・運営の最適化  
財源の創出

### 【参考】公共施設の保全更新コストの長期推計

(2021年～2065年(45年間)の見込額)



「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」より抜粋

### 指標

- 公共施設全体面積の縮減 (2021年時点：約862万㎡)
- 2040年：2021年時点より増やさない
- 2065年：2021年時点の1割以下

# 3 公共図書館の動向 ～知を育む拠点となる図書館の登場①～

近年の他都市事例

## 石川県立図書館

老朽化・狭あい化が課題となり、旧金沢大学工学部跡地へ移転・再整備。閲覧席を拡充したほか、食文化体験スペースやモノづくり体験スペース等、文化交流のためのさまざまな空間を整備。施設中央部の吹き抜けの大閲覧空間（グレートホール）では、身近で馴染み深い12のテーマに基づく配架や、本の表紙を見せる配架など、利用者が本を手に取りたくなる工夫がなされている。



移転前立地	石川県立図書館(金沢市本多町)	移転後立地	石川県立図書館(金沢市小立野2丁目43番1号)
移転前開館年	1912年1月	移転後開館年	2022年7月
移転前規模	8,641㎡	移転後規模	22,721㎡
移転前利用状況 (2020年度)	利用人数:122,689人 貸出冊数:132,185冊	移転後利用状況 (2023年度)	来館者数:1,026,046人 貸出冊数:612,181冊 座席数:約500席(100種類以上の椅子を設置)
導入機能	閲覧エリア、こどもエリア、文化交流エリア (だんだん広場、食文化体験スペース、ブックリウム、カフェ、石川県立自然史資料館コーナー、モノづくり体験スペース、ラーニングスペース、研修室 等)		
背景・目的	旧石川県立図書館は、「新石川県立図書館基本構想」の策定時点で都道府県立図書館で4番目に古く、また建築面積・延床面積・収蔵能力のいずれも都道府県立図書館平均を下回っており、老朽化・狭あい化が問題となっていた。		
移転による効果	来館者数は2023年・2024年ともに100万人を超え、都道府県立図書館のなかで最も多い。		

出所:石川県立図書館(<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/index.html>),  
石川県立図書館年報・要覧(<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/category/aboutlibrary/739.html>)

【配布資料】 新図書館整備基本構想（素案） P.44

# 3 公共図書館の動向 ～知を育む拠点となる図書館の登場②～

近年の他都市事例

## 茨木市文化・子育て複合施設おにクル

中心市街地にある市民会館跡地に、「市民が歩いて訪れたい公共施設」として、複合施設「おにクル」を整備。市内で最も老朽化の進んでいた中条図書館を、茨木市文化・子育て複合施設 おにクル内の「おにクルぶっくばーく」として移転・再整備。移転・再整備により、図書館部分の面積は大きく増加し、座席数も拡充された。おにクルは、開館後約1年半で300万人以上が来場し、おにクルぶっくばーくの貸出人数・貸出点数も増加している。



移転前立地	中条図書館(茨木市東中条町2番13号)	移転後立地	おにクル内(茨木市駅前三丁目9-45)
移転前開館年	1973年1月	移転後開館年	2023年11月
移転前規模	989.28㎡	移転後規模	おにクル:19,715.22㎡(芝生広場3,913.6㎡) おにクルぶっくばーく:2,371.26㎡
移転前利用状況 (2022年度)	来館者数:220,396人 貸出人数:106,555人	貸出点数:459,884冊 座席数:73席	移転後利用状況 (2024年度)
導入機能	来館者数:767,457人(※2023年度・おにクル全体) 貸出人数:183,648人 貸出点数:678,989冊 座席数:449席		
背景・目的	芝生広場、カフェ、クッキングラボ、共創推進課事務室、会議室、コワーキングスペース、市民交流スペース、ホール、音楽スタジオ、多目的室、ホール、こども支援センター、一時保育室、図書館、屋上広場、プラネタリウム ほか		
移転による効果	2015年12月に茨木市市民会館が、経年劣化や耐震性、バリアフリーなどの課題から閉館を迎え、その跡地と隣接するエリアを、まちづくりの中心とすることを目指し活用する目的で取組が進められた。		
	徒歩や自転車で訪れる人も多く、「おにクル」を目的地に訪れ、周辺を回遊する人が増えている。子育て世代のほか、近隣の中高生や大学生が訪れるなど、時間帯により、さまざまな層が利用している。		

出所：茨木市文化・子育て複合施設 おにクル HP(<https://www.onikuru.jp/>)、茨木市立図書館 図書館要覧(<https://www.lib.ibaraki.osaka.jp/>)、令和6年度第1回図書館協議会 資料1 令和5年度事業実績([https://www.lib.ibaraki.osaka.jp/?page\\_id=481](https://www.lib.ibaraki.osaka.jp/?page_id=481))、令和5年度第2回図書館協議会 資料3 おにクルブックパークについて(<https://www.lib.ibaraki.osaka.jp/index.php?act>)

【配布資料】 新図書館整備基本構想（素案） P.45

# 3 公共図書館の動向 ～知を育む拠点となる図書館の登場③～

近年の他都市事例

## 大和市文化創造拠点シリウス

市内の生涯学習センターや図書館の老朽化・機能不足の課題に対応するため、再開発事業計画を見直し、文化複合施設として整備を行った。2路線が乗り入れる大和駅から徒歩3分の場所に立地し、従前の施設に比べアクセス性が向上した。各施設が共通のテーマのもと事業を行うことで、施設全体での盛り上がりを醸成するなど、複合施設であることを最大限に活用している。



移転前立地	大和市深見西一丁目2番17号	移転後立地	大和市大和南一丁目8番1号
移転前開館年	1964年8月	移転後開館年	2016年11月
移転前規模	9,117.32㎡(※図書館・学習センターのみ)	移転後規模	シリウス:26,003.33㎡ 大和市立図書館:6,560㎡ 大和市生涯学習センター:2,953㎡
移転前利用状況 (2015年度)	貸出利用者数:288,492人 貸出冊数:482,947冊	移転後利用状況 (2024年度)	来館者数:2,939,216人(※シリウス全体) 貸出利用者数:224,452人 貸出冊数:684,304冊 読書ができる席数:約1,000席
導入機能	ホール、図書館、生涯学習センター、屋内子ども広場、駐車場等		
背景・目的	再整備前のホール機能を兼ね備えた生涯学習センターや図書館は、老朽化や機能不足の課題を抱えていた。文化施設における課題の解決、市民の利便性の向上に加え、高齢社会に対応したまちづくりを進めるべく、再開発事業計画を見直し、公共施設(ホール、図書館、学習センター、屋内子ども広場など)を整備した。		
移転による効果	開館後4か月半で来館者数が100万人を超え、にぎわいの空間、地区の活性化などに寄与している。		

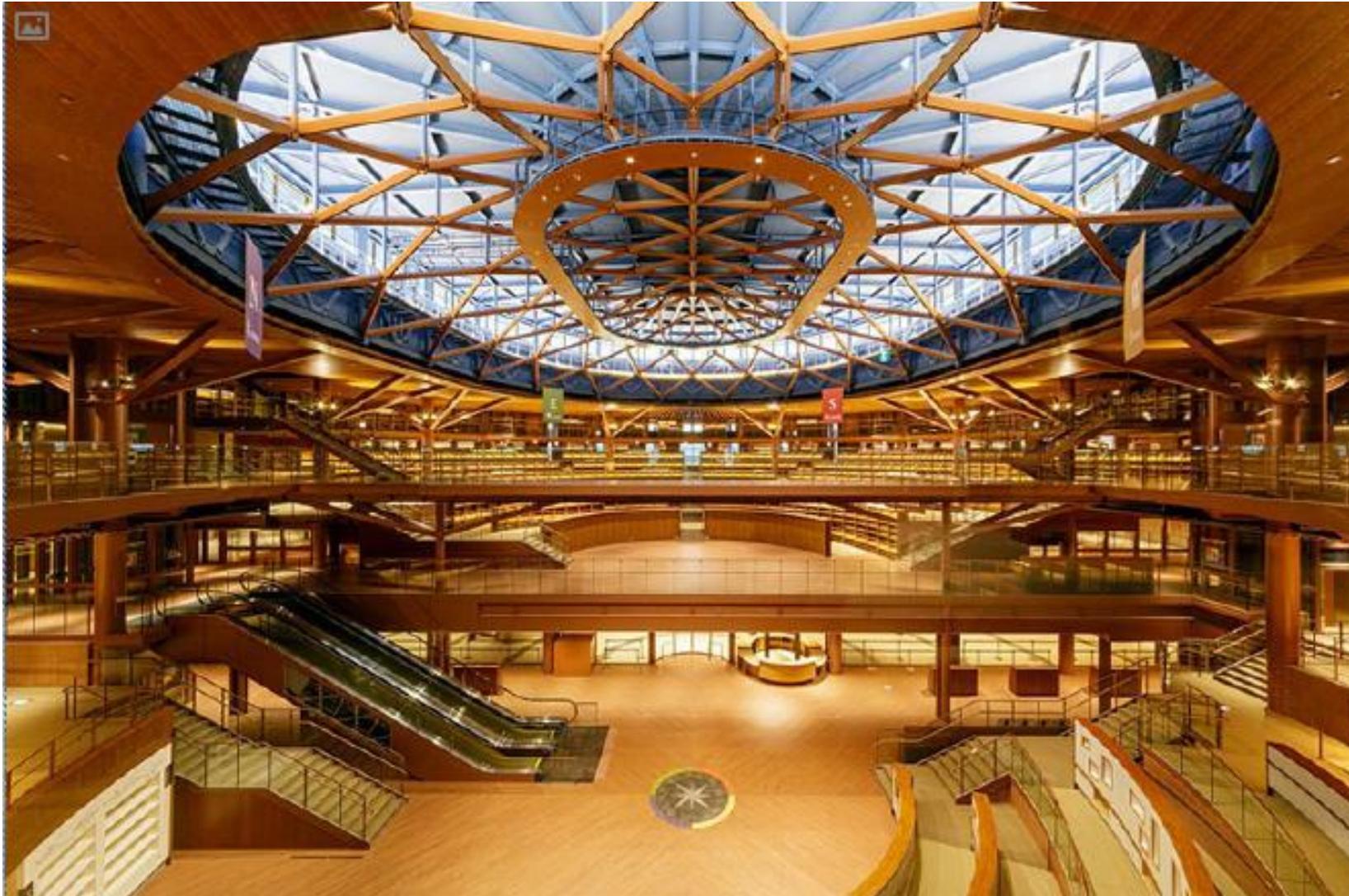
出所：大和市 代表的な施設(<https://www.city.yamato.lg.jp/recruitment/yamatoshinitsuite/22365.html>)、令和6年度大和市  
大和市立図書館 図書館年報(<https://www.city.yamato.lg.jp/gyosei/soshiki/61/toshomanabi/4810.html>)、文部科学

【配布資料】

新図書館整備基本構想 (素案)

P.46

### 3 公共図書館の動向 参考事例(石川県立図書館)



#### 【グレートホール】

誰もが利用しやすいよう、1～3階をスロープで移動できるようにしている。スロープの動線に沿って書架、閲覧机、ラウンジソファ等を配置することで「巡りの楽しさ」を表現している。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(石川県立図書館)



#### 【だんだん広場】

階段状の屋内広場空間。講演会、音楽会等が開催されるほか、イベントが開催されていないときは読書等のスペースとして活用される。貸スペースであるが、図書館主催イベントもある。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(石川県立図書館)



#### 【こどもエリア】

里山をイメージした屋外空間「おはなしの森」(読書や各種観察会、収穫体験等が可能)、知育ゲームの体験コーナー、飲食可能な「おしよじスペース」等がある。これまで図書館に来たことがないこどもの利用のきっかけになる場所。



#### 【カフェ】

館内へ持込できる飲料提供や図書館との連携イベントが実施される。図書館が本の貸し借りにとどまらない、「滞在する場所」になる重要な場所。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(石川県立図書館)



#### 【ブックリウム】

本を題材としたデジタルアートをウォールスクリーン上に投影している。デジタルアートを操作して、本の検索ができる

#### 【モノづくり体験スペース】

本から得た知識やデザインをもとに作品制作ができる。館内企画展示と連動する催事を行う場合もある。



### 3 公共図書館の動向 参考事例(石川県立図書館)



#### 【ラーニングスペース】

学習や読書、デスクワーク、簡単な打ち合わせなどが実施できるスペース。カフェ同様、図書館が居場所としての役割を担う上で重要な場所。



#### 【食文化体験スペース】

食に関する知的体験を提供する、オープンキッチンを備えたイベントスペース。貸スペースであるが、図書館主催イベントも行われる。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(大和市文化創造拠点シリウス)



#### 【特徴】

エントランスホールなど、図書館以外の場所にも書架や本を読める場所が配置され、建物全体を図書館として見せている。図書館の本はカフェ含め、館内どこでも持ち出しが可能。

#### 【居心地の良さ】

飽きの来ない落ち着いたデザインとし、このエリアのまちづくりの象徴として、毎日でも通いたくなる居心地の良さを追求。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(大和市文化創造拠点シリウス)

【メインホール（約1,000席） サブホール（約270席）】



2つのホールとギャラリーを備えるフロアです。トップアーティストによる公演や展覧会など、身近に芸術文化に触れる機会を提供します。また、市民のみなさまの手による文化活動の発表の場としてもご利用いただけます。

### 3 公共図書館の動向 参考事例(大和市文化創造拠点シリウス)



本に囲まれた空間で、誰もが心休まる時間をお過ごしいただけるフロアです。  
心身のリフレッシュはもちろん、地域交流の場としてご利用ください。

#### 【健康テラス・健康コーナー】

健康に関する講座を中心に、地域交流の場として様々なイベントを開催している。健康に関する書架を配架し、専用のレファレンスカウンターを設置している

### 3 公共図書館の動向 参考事例(大和市文化創造拠点シリウス)



#### 【元気っこ広場】

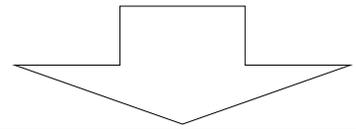
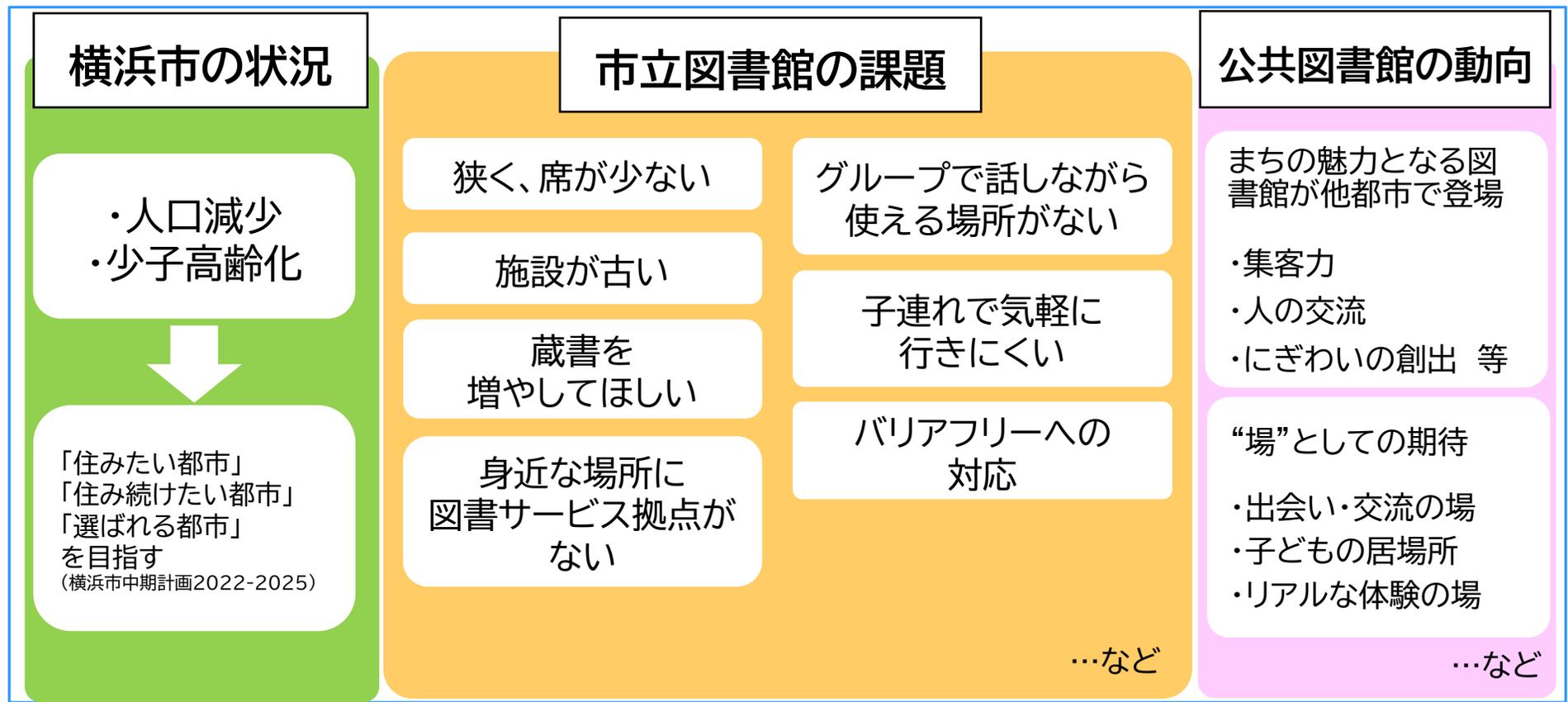
保育室や育児相談室を備えた、乳幼児向けの屋内遊戯施設。

#### 【市民交流ラウンジ】

上質な家具を備え、有線LAN、電源、印刷スペース等を備え、仕事場としても活用できる。



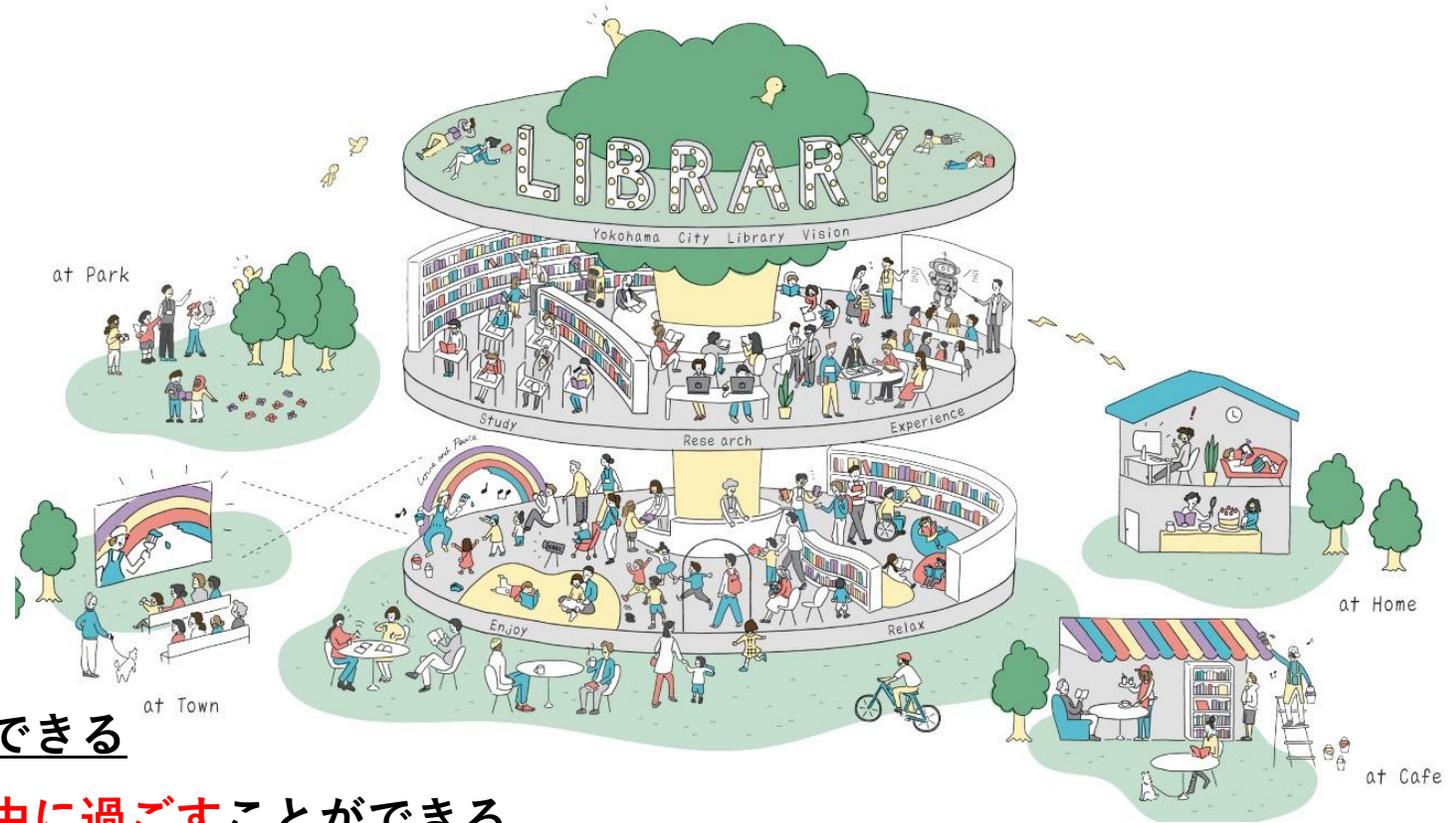
# 4 市立図書館が抱える課題への対応～「図書館が変わった！」へ～



こうした背景のもと、目指すべき図書館像を掲げた「横浜市図書館ビジョン」を策定(令和6年3月)。そして、サービス向上に向けた具体的な取組を、財政ビジョン等の市全体の方針と整合を取りながら、推進

# 4 市立図書館が抱える課題への対応～「横浜市図書館ビジョン」～

子どもから大人まで、  
みんなが主役になれる場



- 読書を通じて、知る・学ぶ・深めることができる
- すべての市民一人ひとりが、居心地よく自由に過ごすことができる
- 読書に加えて、触ったり、聴いたり、様々な感覚で、遊ぶ、体験ができる
- 様々な知や人、文化に出会い、まちとつながり、交流できる
- 市民の皆様や地域の団体、企業の方たちが、協働し、アイデアを出し合える

【配布資料】 横浜市図書館ビジョン

# 4 市立図書館が抱える課題への対応 ～「今後の市立図書館再整備の方向性」～

## 図書館ビジョンの具体化に向けた、「今後の市立図書館再整備の方向性」 (R6.12) の概要

### 現在の市立図書館の抱える課題

- ◆ 施設環境の老朽化・狭隘化
- ◆ 蔵書の不足
- ◆ 図書館サービス向上を担う、賑わい・体験等新しい機能の不足
- ◆ 図書館サービスへのアクセス性
- ◆ 現在の物流スペースの狭隘化



### 対応の方向性

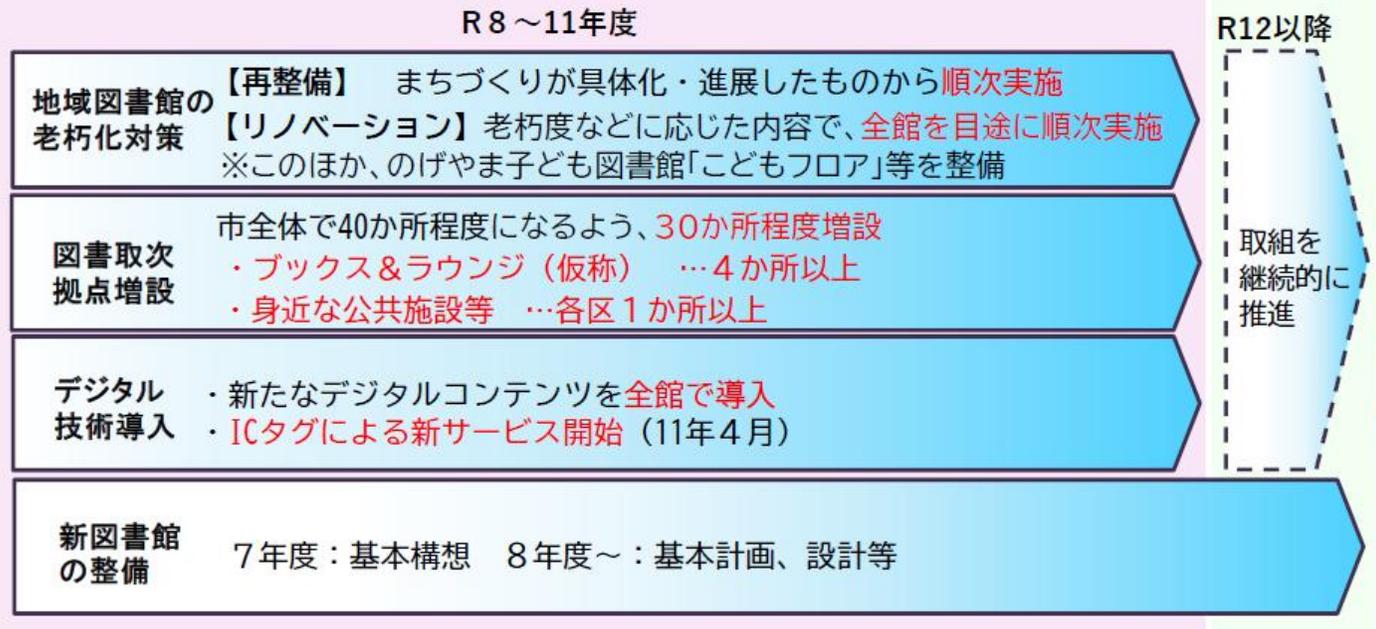
従来の市立図書館全体の枠組みを再構築し、デジタル技術も活かしながら、提供するサービスの充実とアクセス性向上を目指す

<p><b>柱1</b> <u>市立図書館の再整備・機能拡張</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 地域館の老朽化対策 ・まちづくりと連携した再整備 ・短期間でのリノベーション</li><li>● 一部の地域館の中規模化 ・市域バランス等を踏まえ、再整備の際に検討</li><li>● 新たな図書館の整備 ・市立図書館が抱える課題への抜本的な対応</li></ul>	<p><b>柱2</b> <u>図書館サービスへのアクセス性向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 図書取次拠点の増設、物流拠点整備</li></ul>
<p><b>柱3</b> <u>デジタル技術の積極導入</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 多様な体験の提供や、利便性の向上</li></ul>	

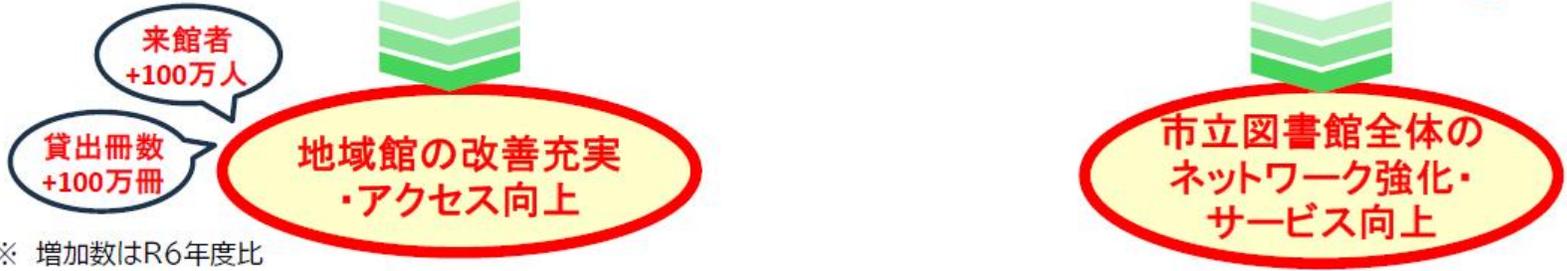
# 4 市立図書館が抱える課題への対応 ～8年度予算案の取組①～

## <取組の全体像>

- 主な課題
- 施設環境の老朽化・狭あい化
  - 蔵書の不足
  - 賑わい・体験等新しい機能の不足
  - 図書サービスへのアクセス難
  - 現在の物流スペースの狭あい化



図書館ビジョンの実現



リノベーションイメージ



ブックス&ラウンジ(仮称)イメージ



「Book Lounge Kable」(平和不動産株式会社)

デジタル技術の導入イメージ



のげやま子ども図書館「こどもフロア」イメージ



【配布資料】 令和8年度予算概要（抜粋）

# 4 市立図書館が抱える課題への対応 ～8年度予算案の取組②～

## 柱7 市民の豊かな学び

<b>施策2</b> 市立図書館の改善・充実とアクセス性の向上		<b>取組内容</b> 「横浜市図書館ビジョン(6年3月)」の実現に向けて、「今後の市立図書館再整備の方向性(6年12月)」に基づき、具体的な取組を進め、図書サービスの充実とアクセス性向上を図ります。
<b>新中期</b> ▶ (1) 地域図書館の老朽化対策 <span style="float: right;">473,100千円(160,000千円)</span>		①地域図書館の再整備 最も古く、築60年を超えた港北図書館の再整備について検討を進めます。 鶴見図書館と豊岡小学校等との複合施設の整備を進めます。
本 年 度	2,715,945千円	②地域図書館のリノベーション【拡充】 居心地向上に向けて、レイアウト変更などによる地域図書館のリノベーション※1を進めます※2。 (設計・施工：神奈川・保土ヶ谷・瀬谷、設計：中・南・都筑・金沢・戸塚) ※1 港北、山内、戸塚、金沢については、別途、7年度12月補正で繰越明許費設定済 ※2 別途、旭・栄・南の空調改修を7年度12月・2月補正で繰越明許費設定済
前 年 度	460,874千円	
差 引	2,255,071千円	
本年度の財源内訳	国・県 6,879千円 その他 - 市債 1,933,000千円 一般財源 776,066千円	
<b>新中期</b> ▶ (2) のげやま子ども図書館 <span style="float: right;">1,728,110千円(164,800千円)</span>		①のげやま子ども図書館整備【拡充】 7年4月に先行開設した「おやこフロア」に続き、思い思いのスタイルで本を楽しむ環境や、没入型コンテンツなどを備えた、のげやま子ども図書館「こどもフロア」及び外構の整備を行います。
<b>新中期</b> ▶ (3) 図書取次拠点の増設 <span style="float: right;">309,710千円(15,000千円)</span>		②中央図書館地下1階等・駐車場改修【拡充】 のげやま子ども図書館整備に伴い、中央図書館地下1階等の改修に向け検討を進めるとともに、親子連れが来館しやすいよう、ハイルーフ車対応も含め、駐車場設備の更新工事を行います。 ※別途、空調改修を7年度2月補正で繰越明許費設定済
<b>新中期</b> ▶ (4) デジタル技術の導入 <span style="float: right;">120,763千円(76,000千円)</span>		図書取次拠点の新設に向けて設計や工事を行います(9年度10か所開所予定※1)。 ※1 内訳(ボックス&ラウンジ(仮称)※2：2か所、身近な公共施設等の活用：8か所) ※2 取組内容(設計・工事：2か所(青葉台駅周辺、上大岡駅周辺)、設計：1か所(横浜駅周辺))
<b>新中期</b> ▶ (5) 新図書館の整備		①市立図書館へのデジタル技術導入【拡充】 市民参加型のオンラインプラットフォームの構築・導入など、地域図書館へのデジタル技術の導入を進めます(金沢・港北・戸塚)。 ②市立図書館全館へのICタグ導入 利用者利便性の向上と業務効率化に向け、7～10年度までの4年間で全館導入を進めます。

**【配布資料】 令和8年度予算概要 (抜粋)**

# (2)新図書館整備基本構想(素案)について

時代・ニーズの変化と、狭あい化等市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新図書館を整備します。

## 横浜市新図書館整備 基本構想 (素案)

概要版

図書館ビジョンで示した「新たな図書館」

### 「子どもから大人まで、みんなが主役になれる場」

新図書館は、閲覧・貸出し等、これまでの図書館が備えていた基本的機能を強化するとともに、メディアの多様化や交流や連携の機会といった時代のニーズを踏まえた取組を進めることで、「新たな価値を生み出すまちの拠点」となることを目指します。

#### 整備のプロセス

当面10年程度の間の市立図書館全体の再整備等の基本的な考え方

- ※ 地域図書館の老朽化対策
- ※ 図書館拠点の増設
- ※ まちづくりと連携した再整備
- ※ デジタル技術の積極導入
- ※ 層心地上を目指したリノベーション
- ※ 新図書館の整備

これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示す。

「図書館ビジョン」 「新たな図書館」	今後の市立図書館 再整備の方向性	基本構想	基本計画	設計	施設整備等
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度～	概ね7～10年程度	

# 1 基本構想とは

本構想は、「横浜市図書館ビジョン」、「今後の市立図書館再整備の方向性」を踏まえ、新図書館のコンセプトや備える機能、立地、規模といった新図書館整備に関する基本的な考え方や方向性を示すもの。

## ■ 長期スケジュール



# 2 基本構想策定の過程

## 2 基本構想策定の過程

本構想の策定過程では、市民の皆様や有識者の皆様からの意見を聞く機会を設けました。いただいたご意見は、この基本構想に反映し、実現に向けて具体化していきます。

### ワークショップ

テーマ 新しい図書館を考えよう!

対象者 市内在住・在勤・  
在学の方(68名参加)

#### 主な結果

- 第1回(10月26日) 横浜市役所 31名
- 第2回(10月29日) 横浜市役所 37名

新図書館にほしい「新しい機能」について意見を収集しました。  
例えば、「音楽や演劇、展示にふれる空間」「図書館資料と  
連携した体験型教室の開催」などの意見が得られました。



### 小中高生インタビュー

テーマ 行ってみたい図書館は  
どんなところ?

対象者 市内小中高生46名

#### 主な結果

##### 対象

- 市立南高校(9月22日) 1~3年生 10名
- 市立鶴見中学校(10月17日) 2~3年生 7名
- 市立箕輪小学校(9月26日) 5~6年生 29名

現在の図書館のイメージや、図書館のいいところ、行ってみた  
くなる図書館について意見を伺いました。  
家から遠くても、駅前の便利な場所にほしいなど、環境面での  
意見をいただきました。  
また、ソファや寝転がれる場所、テラス席で本を読みたい、VR  
で本の世界を体験してみたいといった、図書館での過ごし方  
について、様々な意見をいただきました。

### 有識者ヒアリング

テーマ 新図書館への意見を伺う

対象者 小泉 公乃 氏(筑波大学)  
大向 一輝 氏(東京大学)  
石井 大一郎 氏(宇都宮大学)  
安岡 美佳 氏(ロスキレ大学)  
菅沼 聖 氏(山口情報芸術センター)  
田村 和彦 氏(株式会社丹青社)

#### 主な結果

新図書館の機能や運営方法などについて、6名の有識者より  
意見を伺いました。  
各有識者の専門分野(図書館情報学、デジタル・情報テクノ  
ロジー、コミュニティ政策、体験プログラム設計、文化施設運営)  
を中心に、新図書館への意見を伺いました。  
例えば、「公共図書館の使命は「知る権利の保証」であるため、  
その軸は意識できるとよい。」「図書館で知的な体験を提供す  
る際は、図書館の持つ情報を活かした体験とするなど、図書館  
で実施する意義がある」とい。などの意見が得られました。

【配布資料】 新図書館整備基本構想 (素案) P.6

# 2 基本構想策定の過程

## 市民ワークショップの結果

対象 横浜市内に在住・在勤・在学の方

テーマ 新しい図書館を考えよう!

実施概要	実施回	開催日	場所	参加者数	応募総数
	第1回	令和7年10月26日(日)	横浜市役所	31人	
第2回	令和7年10月29日(水)	横浜市役所	37人		

▼ 主な意見 新しい図書館にほしい「新しい機能」として、以下の意見が得られました。

### ● 知的好奇心を呼び起こす仕掛け

**本の貸出しを活性化させる仕掛け**  
貸出履歴を記録して匿名でシェア、本の交換会を実施などで、新しい本との出会いのきっかけを作る。

**AIを活用したリコメンド機能**  
関心分野への理解の促進に加え、関心分野に近い他分野との出会いも生まれる。  
ほかにも専用アプリで年齢別・世代別のおすすめの本や可書のおすすめが提案されるなど。

**作家との連携**  
作家を招待し、直接交流できる。

**地元企業・地元スポーツチームとの連携**  
地元企業や地元スポーツチームについて知ってもらうスペースの設置や、コラボレーションを実施する。

### ● 利用者が互いに交流できる機会

**まちかどサテライトの設置**  
図書館に、地域に密着した、第三の居場所となれるような空間を提供する。

**市民参加型の書棚づくり**  
市民が自ら本を選び、テーマに沿った「自分たちの本棚」を作ることで、市民同士の交流のきっかけを生み出す。

**外国につながる方向けのアプローチ**  
日本語教室や、旅行者や住民それぞれに向けた情報コーナーを設置する。

### ● ユーザビリティの向上

**多様な利用シーンへの対応**  
「ワークション環境の整備」「有料読書スペースの設置」「館内託児所の設置」など、利用者のニーズに合わせた環境を提供する。

### ● 他施設・企業との連携

**知の創造に向けた連携**  
市内の大学・企業・団体等が保有する知的資源を相互に連携し活用する。

### ● 偶発的な出会い

**VR空間の提供**  
感覚的な体験から新しい関心分野に出会える場所。もし関心を示した場合は、適した図書を提案する。

### ● 五感で知に触れる、多様な体験

**活動が見えるガラス張り建築**  
館内での多様な活動を視覚的に感じ取れるよう、ガラス張りの構造とする。

**音楽や演劇、展示にふれる空間の整備**  
コンサートや演劇、展示に触れられる空間を整備する。

**フィットネス機能の整備**  
健康づくりやスポーツにおける課題解決のための実践ができる空間を整備する。

**リラックスと自由な配置**  
畳の空間など、リラックスでき、自由な空間を提供する。

### ● 知を実践し、発信できる場の提供

**図書館資料と連携した体験型教室の開催**  
例えば料理本で学んだことをクッキング教室を実践できる。

**スキルとニーズのマッチング**  
学びたい人と教えたい人をつなぎ様々な交流イベントの実施サポートなどを図書館が行う。

**貸出を行わない「ビジネス支援室」の設置**  
専門書やデータベース等、図書館でしか得られない情報を充実させ、常時閲覧できる環境を整備する。

**まちライブラリーのような仕組み**  
市民が自分のおすすめの本を持ち寄り、棚を作ることで、交流が生まれ、そこから知的実践や発信に繋がっていく。

### ● ユーザーの定着

**コンシェルジュの配置**  
何を読めばいいかわからない、なんとなくふらっと立ち寄った、という利用者が「とりあえず話しかける相手」として配置する。

### ● 「利用していない人、利用できていない人」への想像力

**従来の利用者層に留まらないサービス設計**

【配布資料】 新図書館整備基本構想（素案） P.47

# 3 新図書館整備の基本方針

第2章  
1

## 新図書館整備の基本方針

図書館ビジョンでは、「新たな図書館像」を“子どもから大人まで、みんなが主役になれる場”と示しており、  
そのために必要な5つのキーワードを掲げています。

5つのキーワード

知る・学ぶ・深める

つどう・憩う

遊ぶ・体験する

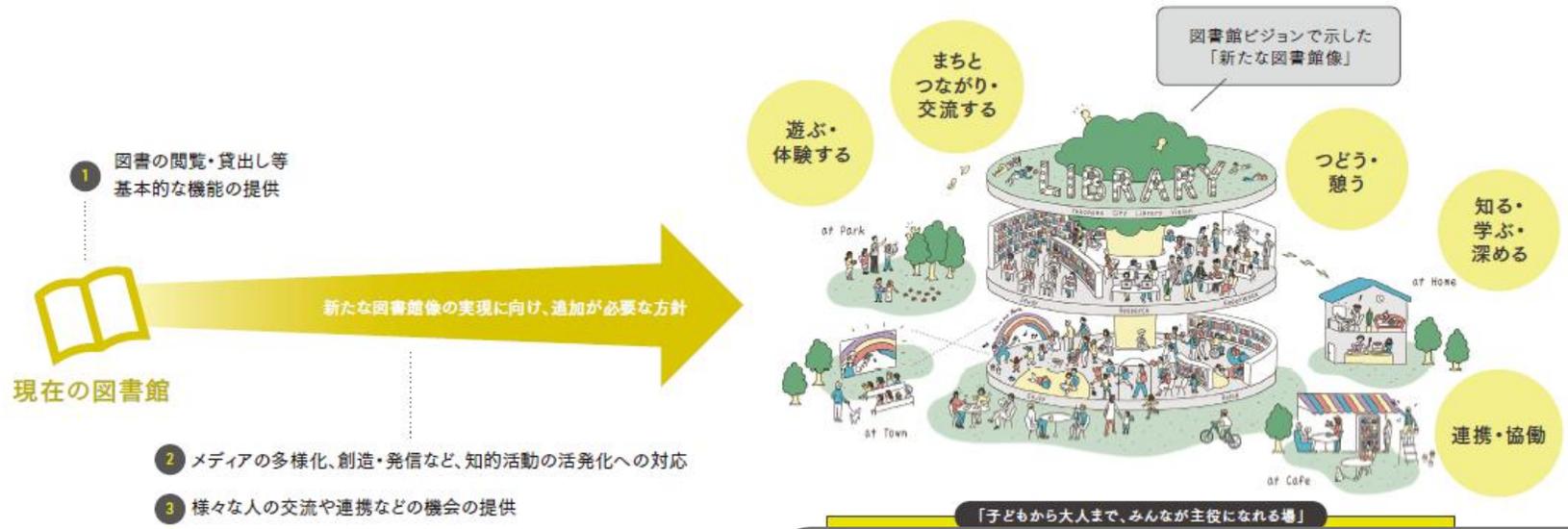
まちとつながり・交流

連携・協働

新図書館では、これを念頭に、現在の市立図書館が備える

- ① 図書の閲覧・貸出し等基本的な機能の提供に加え、
- ② メディアの多様化、創造・発信など、知的活動の活発化への対応、
- ③ 様々な人の交流や連携などの機会の提供

の3つの方針のもと、整備を行うことで、  
図書館ビジョンに示す「新たな図書館像」を実現します。



# 4 新図書館の目指す姿

第2章

3

## 新図書館の目指す姿

①～③の基本方針に基づき、近年の社会動向も踏まえながら、新図書館が目指す姿を整理しました。



知を拡げ

【配布資料】

新図書館整備基本構想（素案）

P.19

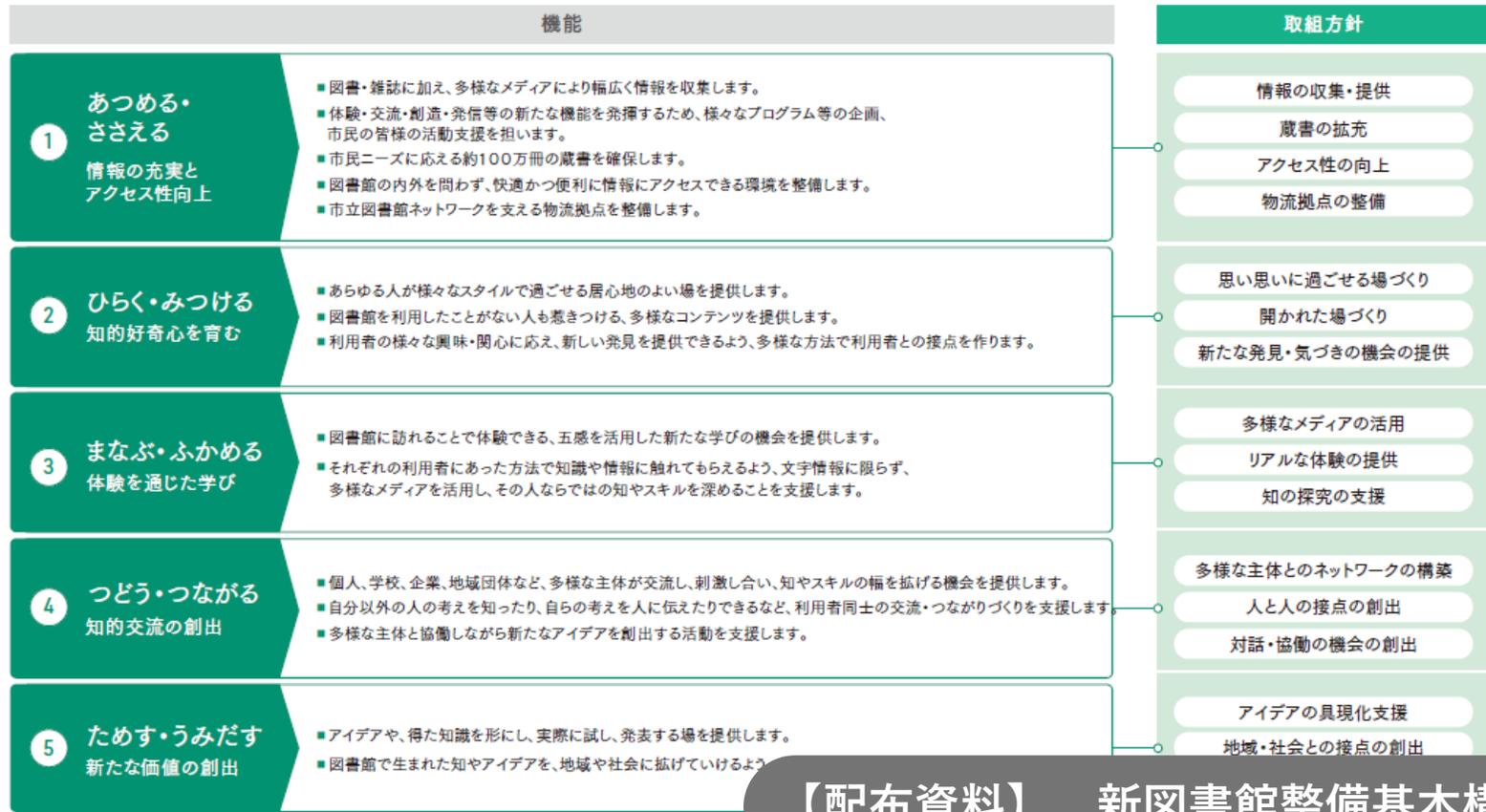
# 5 新図書館の「5つの機能」

第3章

1

## 5つの機能

前章で示した、新図書館の目指す姿を実現するため、新図書館に求められる機能を次の通り整理しました。  
各機能を相互に連携させることで、新図書館は「知を広げ 人をつなぎ 新たな価値を生み出す まちの拠点」となることを目指します。



# 6 新図書館の規模の考え方・スペースの構成

第4章

## 2

### 規模の考え方・スペースの構成

座席数や備える蔵書の規模など各スペースに必要な面積から新図書館の概ねの規模を下表のとおり整理しました。今後、各スペースの詳細を検討する中で、より具体的に検討していきます。

施設整備の方針

- 読書環境の充実 … 蔵書不足の解消に向け、約100万冊を収蔵。閲覧席等の「座席」を約1,000席確保。
- 体験、交流、創造、発信等新しい機能の整備 … 1,000人程度が滞在・活動できる空間を確保
- 市立図書館ネットワーク支援機能の確保 … 書庫、物流拠点等を整備

エリア	整備する空間・諸室	想定規模
図書・閲覧等の基本的機能を提供するエリア	図書・閲覧関連スペース 例 開架図書(40万冊程度を想定)、閲覧席(約800席※)等	6,000㎡程度
体験、交流、創造、発信等新しい機能を提供するエリア	多様な滞在スペース 例 オープンなラウンジ、静かな部屋等(約200席)	5,000㎡程度
	交流・共創スペース 例 多目的ホール、ギャラリー等	
	創造・体験・活動スペース 例 ものづくりができる空間、グループ活動ができる空間等	
新図書館利用者へのサービスを支えるエリア	子ども・ティーンズ関連スペース 例 遊び空間、自由な活動ができる空間等	5,000㎡程度
	共用・事務管理スペース 例 廊下・階段・トイレ等	
市立図書館ネットワークを支えるエリア	共用・事務管理スペース 例 廊下・階段・トイレ等	5,000㎡程度
事務管理関連エリア	市立図書館ネットワーク支援関連スペース 例 物流拠点、開架書架(60万冊程度を想定)等	2,000㎡程度
	共用・事務管理スペース 例 事務室、建物管理関連諸室等	2,000㎡程度
合計		



【配布資料】

新図書館整備基本構想（素案）

P.32

# 7 新図書館の整備予定地

第5章

1

## 整備予定地

利用者のアクセス性、物流拠点としての適性、  
全市的なまちづくり・市域バランスの3つの視点から検討を行い、整備予定地を選定しました。

整備予定地の概要	
所在	港北区新横浜二丁目1番5
面積	2,796.29㎡
周辺環境	<ul style="list-style-type: none"><li>●新横浜駅から徒歩1分(JR・市営地下鉄・東急・相鉄)</li><li>●北口駅前広場に隣接</li></ul>
土地所有者	横浜市
現況	資材置き場
主な都市計画制限等	用途地域:商業地域 建ぺい率:80% 容積率:800% 高度地区指定:第7種高度地区・最低限第1種高度地区 地区計画:新横浜駅北部地区街づくり協議地区



【配布資料】

新図書館整備基本構想 (素案)

P.35

## 8 新図書館整備に関して、いただいている、ご意見の例

- 他都市にあるような多機能型の新図書館への期待
- 新図書館が保有する蔵書や閲覧席数などについての要望
- 空間の開放性や、座席・家具など、新図書館の施設・設備への要望
- お喋りの許容、カフェの設置など、過ごしやすさへの期待
- デジタル技術を使った新しいサービス提供への要望
- 新図書館の機能・価値を向上させるために、図書館以外の機能との複合化の提案
- 新図書館整備と連携する、新横浜のまちづくりに関する期待
- 新図書館整備と同時に、地域図書館や図書取次所等他の図書サービス充実の要望
- 新図書館整備と財政ビジョン(公共施設の縮減)との整合、維持管理費に対する懸念

など

# 9 今後のスケジュール(想定)

## ■ 長期スケジュール



随時、意見募集等を実施

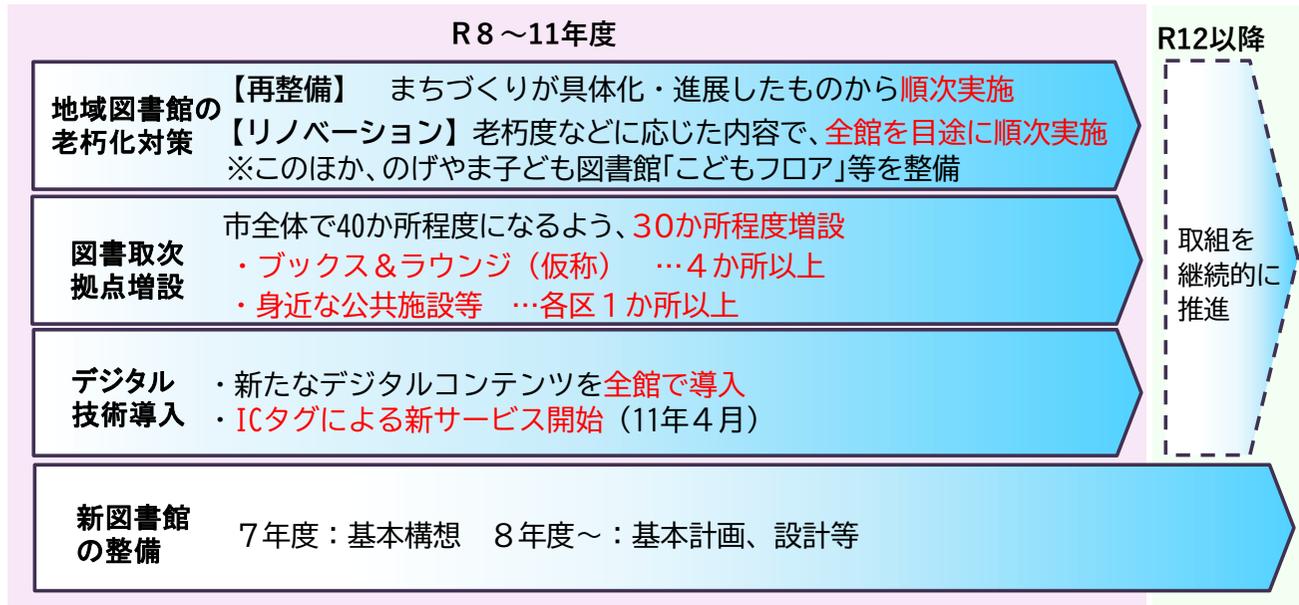
今後も、市民の皆さまのご意見を、節目節目で伺っていきます。  
まずは、本日、新図書館に関する想い・提案などを、皆さまで、お話しください！

## 柱7 市民の豊かな学び

施策2		市立図書館の改善・充実とアクセス性の向上		<b>取組内容</b> 「横浜市図書館ビジョン(6年3月)」の実現に向けて、「今後の市立図書館再整備の方向性(6年12月)」に基づき、具体的な取組を進め、図書サービスの充実とアクセス性向上を図ります。
本 年 度		2,715,945千円		<b>新中期 ▶ (1) 地域図書館の老朽化対策</b> ①地域図書館の再整備 最も古く、築60年を超えた港北図書館の再整備について検討を進めます。 鶴見図書館と豊岡小学校等との複合施設の整備を進めます。
前 年 度		460,874千円		②地域図書館のリノベーション【拡充】 居心地向上に向けて、レイアウト変更などによる地域図書館のリノベーション <sup>※1</sup> を進めます <sup>※2</sup> 。 (設計・施工：神奈川・保土ヶ谷・瀬谷、設計：中・南・都筑・金沢・戸塚)
差 引		2,255,071千円		※1 港北、山内、戸塚、金沢については、別途、7年度12月補正で繰越明許費設定済 ※2 別途、旭・栄・南の空調改修を7年度12月・2月補正で繰越明許費設定済
本年度の財源内訳	国・県	6,879千円		<b>新中期 ▶ (2) のげやま子ども図書館</b> <span style="float:right">1,728,110千円 (164,800千円)</span>
	その他	-		①のげやま子ども図書館整備【拡充】 7年4月に先行開設した「おやこフロア」に続き、思い思いのスタイルで本を楽しむ環境や、没入型コンテンツなどを備えた、のげやま子ども図書館「こどもフロア」及び外構の整備を行います。
	市債	1,933,000千円		②中央図書館地下1階等・駐車場改修【拡充】 のげやま子ども図書館整備に伴い、中央図書館地下1階等の改修に向け検討を進めるとともに、親子連れが来館しやすいよう、ハイルーフ車対応も含め、駐車場設備の更新工事を行います。
	一般財源	776,066千円		※別途、空調改修を7年度2月補正で繰越明許費設定済
				<b>新中期 ▶ (3) 図書取次拠点の増設</b> <span style="float:right">309,710千円 (15,000千円)</span>
				図書取次拠点の新設に向けて設計や工事を行います(9年度10か所開所予定 <sup>※1</sup> )。【拡充】 ※1 内訳(ブックス&ラウンジ(仮称)) <sup>※2</sup> :2か所、身近な公共施設等の活用:8か所 ※2 取組内容(設計・工事:2か所(青葉台駅周辺、上大岡駅周辺)、設計:1か所(横浜駅周辺))
				<b>新中期 ▶ (4) デジタル技術の導入</b> <span style="float:right">120,763千円 (76,000千円)</span>
				①市立図書館へのデジタル技術導入【拡充】 市民参加型のオンラインプラットフォームの構築・導入など、地域図書館へのデジタル技術の導入を進めます(金沢・港北・戸塚)。
				②市立図書館全館へのICタグ導入 利用者利便性の向上と業務効率化に向け、7～10年度までの4年間で、図書館資料へのICタグの貼り付けを順次進めます。
				<b>新中期 ▶ (5) 新図書館の整備</b> <span style="float:right">84,000千円 (45,000千円)</span>
				7年度に策定予定の新図書館整備基本構想を踏まえ、新図書館の整備内容や事業手法等を示す「基本計画」の検討等を進めます。【拡充】

<取組の全体像>

- 主な課題
- 施設環境の老朽化・狭あい化
  - 蔵書の不足
  - 賑わい・体験等新しい機能の不足
  - 図書サービスへのアクセス難
  - 現在の物流スペースの狭あい化



図書館ビジョンの実現

来館者 +100万人

貸出冊数 +100万冊

地域館の改善充実  
・アクセス向上

市立図書館全体のネットワーク強化・サービス向上

※ 増加数はR6年度比

リノベーションイメージ



ブックス&ラウンジ(仮称)イメージ



「Book Lounge Kable」(平和不動産株式会社)

デジタル技術の導入イメージ



のげやま子ども図書館「こどもフロア」イメージ

